



内陸線社員による社員宣言 「これからも地域の皆さまと共に」



平成元年4月1日 明治以来の悲願であった秋田内陸全線開業にわく当時の様子



30周年記念式典の様子

秋田内陸線全線開業30周年記念式典

平成から令和へ

内陸線はこれからも地域の皆さまの笑顔と希望をのせて走り続けます

昭和59年に第三セクターとして開業した秋田内陸縦貫鉄道は、住民の悲願であった鷹巣角館間が平成元年4月1日に全線開業し、以来、平成の時代と共にこのほど30周年を迎えた。そして、時代は平成から令和へと新たな幕明けを迎える今、地域の足はもとより、沿線の美しい日本の原風景の中を走る鉄道として、今後も守り抜いていくことを参加者全員が決意を新たに30周年を祝いました。

平成31年4月19日、秋田内陸線全線開業30周年記念式典が阿仁ふるさと文化センターを会場に約1500人が参加し行われ、節目を祝いました。

吉田裕幸 秋田内陸縦貫鉄道株式会社代表取締役社長  
内陸線沿線の風景は秋田の誇り、新時代へ残すべき地域の宝

「全線開業30周年を迎えることができたのは、沿線や内外から支援をいただいた方々、全線開業に向けて取り組まれた先人の皆さまのおかげであり感謝を申し上げたい。日本の文化、原風景の中を走る鉄道として、地域の皆さまの鉄道という開業以来の理念を忘れることなく、また、地域の広告塔として、これからも地域の皆さまと共に、国内をはじめ、海外の方にも喜んで来ていただけるよう新しい時代に向かって



吉田内陸縦貫鉄道社長

邁進してまいります」などあいさつしました。

吉田耕一郎 国土交通省東北運輸局長

これからも安心安全運行と沿線の観光発信、交流人口拡大へ期待

「少子高齢化、人口減少など取り巻く経営環境は大変厳しい中、30周年を迎えられたことは、内陸線の歴代の社長、社員はもとより、沿線自治体のご尽力を含め、たくさんの方々からご支援いただいた賜物。秋田内陸線はみちのくの小京都角館、花の百名山森吉山など多くの観光資源があり、現在もたくさん海外の方々に来ています。今後もさらに沿線の観光資源に磨きをかけ、交流人口の拡大に向けて取り組んでいってほしい」などあいさつしました。



吉田東北運輸局長

堀井啓一 秋田県副知事  
本当に残して良かった鉄道、皆で支え合い新しい時代へ残したい



堀井秋田県副知事

「全線開業も含め、これまでの内陸線の歴史は平たんなものではなかった。多くの議論もあつたが、沿線の皆さまの残そうという取り組み、活用へのご努力により、それを乗り越えて現在がある。多くのトンネル、橋もあり、維持には費用を要する部分もあるが、東北運輸局にもご支援をいただいているほか、沿線自治体でも通学定期購入に対する助成などの利活用に向けた取り組み、阿仁合駅舎の改築、今回のウエルカムステーションの開設などの努力が続いている。今後も様々な議論があると思うが、雲の上に広がる青空のように、希望をもって、いつだって青空の精神でいつまでも残してまいりたい」などあいさつしました。

津谷永光 北秋田市長  
開業一番列車の熱意を忘れず、新たな時代へ北秋田の魅力を発信していきたい

「平成元年に沿線住民の悲願であった全線開業、平成から令和へと



津谷北秋田市長

式典では、門脇光浩仙北市長のあい

記念すべき時に30周年を迎えた。開業の一番列車、人がホームから溢れかえっている当時の様子を思い起こす。それから30年、道路はこの間大変整備され、少子高齢化もあり沿線人口も減った、主力であった定期利用者も減って存廃を問われてきた。しかし、沿線の方々のたゆまない熱意を原動力に内陸線は走り続けてきた。会社も大きく方針を変更しながら、定期外利用の拡大へ取り組みを官民一体となって地道に取り組みしてきた。その成果がインバウンドの増加など結果として徐々に出てきている。本日、この30周年の節目に沿線の魅力を発信する情報拠点として、北秋田森吉山ウエルカムステーションをオープンすることができた。今後も、台湾をはじめ、世界の方々にも森吉山の魅力を発信し、この阿仁エリアで創出するにぎわいを沿線全域に波及させる取り組みを推進していきたい。この記念すべき全線開業30周年を令和時代の新たな出発点として、秋田内陸線がお客様の笑顔を乗せて力強く走り続けることを期待したい」などあいさつしました。



トレインビューカウンター  
森吉山の森をイメージ  
観光施設のPRコーナー  
森吉山の情報パネル  
キッズコーナー完備  
エレベーター完備  
投影マップは人気

北秋田森吉山ウエルカムステーショングランドオープン!!

4月19日、森吉山の多彩な魅力を感じていただける快適な待合スペースとして活用が期待されるウエルカムステーションが阿仁合駅2階にグランドオープンしました。



石破衆議院議員  
感謝状贈呈  
本城奈々さん

道の可能性について事例紹介があったほか、地域の方で30周年を節目に新たな時代を作っていくってほしいとのエールがありました。